

7月19日：ベトナム株は利食い売りに押され、大幅反落

週明けのベトナム株は利食い売りに押され大幅反落した。多くの銘柄がストップ安をつけた。

ホーチミン市場のVN指数は4.29%（55.8ポイント）安の1,243.51ポイントで引けた。同指数は先週3.6%下げ、終値は1,299.31ポイントだった。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、346銘柄が下落、50銘柄が上昇した。出来高は高い水準で、売買高が7億3,100万株以上、売買代金が21兆8,000億ドン（9億4,700万米ドル）を超えた。

VN30指数は4.44%（63.9ポイント）安の1374.15ポイントだった。

同指数採用銘柄のうち29銘柄が下落、さらにその中の4銘柄がストップ安をつけた。上昇したのは1銘柄だけだった。

ハノイ市場のHNX指数も5.1%安の292.06ポイントで取引を終えた。

売買高は1億3,010万株以上、売買代金は約3兆ドンだった。

取引開始直後から売りが相次いだ。利食い売りは全ての業種に広がり、特に銀行株の下げが目立った。

進行中のコロナ第4波を防ぐため、ハノイ市と他の16省が厳しい規制を始めたことも株価に影響した。

値下がり寄与度上位5銘柄には、5.37%安だったベトナム銀行（VCB）が値下がり寄与度トップ。ビンホームズ（VHM）、テクコムバンク（TCB）、ベトナム投資開発銀行（BIDV）はそれに続き、うちTCBとBIDVは6.7%を超える下げとなった。

VPバンク（VPB）、ヴィエティンバンク（CTG）、ベトナム国際銀行（VIB）、TPバンク（TPB）、ベトナムゴム工業グループ（GVR）といった銀行株を中心に多くの銘柄が7%のストップ安をつけた。

公益、情報技術、輸送、物流、小売関連といった他の銘柄もさえない動きとなった。

しかしバリア・ブنداウ住宅開発（HDC）、ハウザン製菓（DHG）、カンディエン不動産（KDH）は逆行高を演じ、1～2%を超える上昇を見せた。

「買い需要が戻るため、マーケットではより低い価格帯で調整が続く可能性がある」
（サイゴンハノイ証券のアナリスト）

「VN 指数は短期的に 1,333～1,348 ポイントの上値抵抗線を試す可能性がある。第 2 四半期決算は一時的に株価を支える要因になるだろう」（バオベト証券）

その一方で外国人投資家はホーチミン市場で 1,014 億 4,000 万ドンを売り越し、ハノイ市場で 154 億 3,000 万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。